

第1期

事業報告

自 平成 28 年 9 月 13 日
至 平成 29 年 3 月 31 日

第 1 期 事業報告

(自 平成 28 年 9 月 13 日 至 平成 29 年 3 月 31 日)

1. 株式会社の現状に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

当期の我が国経済は、2月より日銀がマイナス金利を行うも期待した効果が上がらず、逆に中国経済の減速や英国のEU離脱等の不安要因で円が買われ、8月には1ドル101円まで円高となり、6割を占める個人消費は足踏み状態のまま推移しました。ところが11月の米国大統領選でトランプ氏が勝つと一気に円安が進み、12月には再び110円台を超え、日経平均株価も8月 15,000円台だったものが12月には 19,000円台までと回復してきました。

一方当地九州では、人口減少や少子高齢化などの傾向が変わらない中、4月に熊本地震が発生、新幹線をはじめとする交通インフラが大きな打撃を受け、観光産業は甚大な影響を受けるスタートとなりました。しかし、下期から国が復興に向けた「九州ふっこう割」を大々的に展開、加えて10月～12月一杯はJRの「DC(ディスティネーション・キャンペーン)長崎」が展開され、更には10月「ねんりんピック長崎」も実施、復興に向け九州観光を大きく後押ししてくれました。

そんな中、市が進めてきた観光系組織の一元化により、9月13日(株)島原観光ビューローが設立され、10月1日より営業を開始しました。厳しい環境下でのスタートとなりましたが、ふっこう割、JR・DCの効果、また所属員も統合混乱が収まらないなか、従来業務に加え手探りで新たな役割もこなしてくれました。

その結果、10月～3月の半期は、売上高 99,444 千円、総利益 77,881 千円、営業費 80,192 千円 営業損失 2,311 千円となりましたが、経常利益では 3,685 千円と黒字を確保することができました。税引き後の当期純利益は 2,720 千円となりました。

(2) 資金調達等についての状況

設立時 2,005 株(払込金額 1 株につき 20,000 円)を発行し資本金 40,100,00 円でスタートしました。その後11月に増資を行い、995 株(〃)を追加発行して、資本金 60,000,000 円となりました。

(3) 財産及び損益状況の推移

	第 1 期 (平成 28 年度)	第 2 期 (平成 29 年度)	第 3 期 (平成 30 年度)	第 4 期 (平成 31 年度)
売上高	99,444 千円			
売上総利益	77,881 千円			
経常利益	3,685 千円			
当期純利益	2,720 千円			
1株当り当期純利益	907 円			
総資産	80,006 千円			
純資産	62,720 千円			

(4) 主要な営業所及び従業員の状況

名称	所在地
(株)島原観光ビューロー 島原城本部	〒855-0036 島原市城内1丁目 1183-1
(株)島原観光ビューロー 外港事務所	〒855-0861 島原市下川尻町 7-5

平成 29 年 3 月 31 日現在

	総務部	観光開発部	観光推進部	商品開発部	流通施設部	合計
社員	4	2	2	1	5	14
契約社員	0	0	3	8	12	23
合計	4	2	5	9	17	37

(5) 対処すべき課題

設立半年を終え、初めて通年の年度を迎える当社において、当面克服すべき課題は以下 4 項目と認識しております。

期限を決め、着実に実現・進展を図ってまいりたいと思います。

- ①株式会社として整えるべき、規則、規定、基準、方針等、諸制度の構築と定着に向けた運用
- ②株式会社としての内部統制システムの構築(法令遵守・危機管理体制・BCP・内部監査～等)
- ③統合組織としての従業員一体感の醸成、民間会社としての数字に対する意識・行動の徹底
- ④中期経営計画(2017～2019)に基づく、諸実行課題の着実な遂行・解決と、利益計画の達成

(6) 剰余金の配当等を取締役会が決定する旨の定款の定めがあるときの権限の行使に関する方針

当社は、株主に対する利益還元を経営上の重要な施策の一つとして位置付けております。当社は、将来における安定的な成長と経営環境の急激な変化にも対応できるよう、必要な内部留保をまず確保し、その上で経営成績に応じ株主への利益還元を継続的に行うことを基本としています。

2. 株式に関する事項

- ①発行可能株式数 3,000 株
- ②発行済株式の総数 3,000 株
- ③当事業年度末の株主数 224 名
- ④大株主(発行済株式総数の 10 分の 1 以上) 平成 29 年 3 月 31 日現在

株主名	持株数
島原市	2,000 株

3. 会社役員に関する事項

(1) 取締役及び監査役の氏名等 平成 29 年 3 月 31 日現在

地位及び担当	氏名	他の法人等の代表状況
代表取締役	中村 慎次	
取締役	古川 隆三郎	島原市長
取締役	満井 敏隆	島原商工会議所 会頭
取締役	塩野 進	島原市役所市長公室 理事
取締役	小川 洋	(株)長崎経済研究所 代表取締役社長
監査役	八幡 秀昭	

注 1 取締役古川氏、満井氏、塩野氏、小川氏は会社法第 2 条 15 号に定める社外取締役ではありますが、その中でも小川氏は独立役員となります。

注 2 監査役八幡氏は、会社法第 2 条 16 号に定める社外監査役ではありますが、その中でも独立監査役となります。

注 3 監査役八幡氏は、公認会計士、税理士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。

注 4 取締役武長氏は、平成 29 年 3 月 28 日退任いたしました。

注 5 取締役中村氏、小川氏は、平成 29 年 3 月 28 日に就任しております。

(2) 取締役及び監査役の報酬等の総額

	人員	報酬等の額
取締役	5人	0
監査役	1人	0
計	6人	0

注1 取締役報酬並びに監査役報酬の総額は今回の議案となっています。

(3) 社外役員の主な活動状況

	氏名	主な活動状況
取締役	小川 洋	2017年3月28日に取締役に就任しました。
監査役	八幡 秀昭	当事業年度開催の取締役会全てに出席、主に公認会計士の立場から必要に応じて発言を行っています。

決算報告書

(第 1 期)

自 平成 28 年 9 月 13 日
至 平成 29 年 3 月 31 日

株式会社島原観光ビューロー

長崎県島原市下川尻町7番地5

貸借対照表

株式会社島原観光ビューロー

平成29年 3月31日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 79,006,076】	【流 動 負 債】	【 17,285,696】
現 金	2,732,632	買 掛 金	6,856,920
預 金	68,880,898	未 払 金	8,747,405
売 掛 金	165,311	未 払 法 人 税 等	964,600
商 品	920,227	前 受 金	421,400
貯 蔵 品	151,184	預 り 金	95,035
未 収 入 金	6,155,824	仮 受 金	200,336
【固 定 資 産】	【 1,000,000】	負 債 合 計	17,285,696
(投資その他の資産)	(1,000,000)		
差 入 保 証 金	1,000,000		
		純 資 産 の 部	
		【株 主 資 本】	【 62,720,380】
		資 本 金	60,000,000
		(利 益 剰 余 金)	(2,720,380)
		その 他 利 益 剰 余 金	2,720,380
		繰 越 利 益 剰 余 金	2,720,380
		純 資 産 合 計	62,720,380
資 産 合 計	80,006,076	負 債 ・ 純 資 産 合 計	80,006,076

損益計算書

株式会社島原観光ビューロー

自 平成28年 9月13日

至 平成29年 3月31日

単位：円

科	目	金	額
【売上高】			
売上高	本部	7,500,000	
売上高	島原城	38,802,270	
売上高	本丸売店	32,289,602	
売上高	マーケティング	7,932,370	
売上高	四明荘	816,466	
売上高	清流亭	530,272	
売上高	七万石物語事業	5,330,161	
売上	湧水おもてなし事業	5,756,865	
売上	旅行業	486,490	99,444,496
【売上原価】			
仕入高		22,635,307	
＊ ＊ 合計 ＊ ＊		22,635,307	
期末棚卸高		△1,071,411	21,563,896
	売上総利益金額		77,880,600
【販売費及び一般管理費】			80,192,044
	営業損失金額		△2,311,444
【営業外収益】			
受取利息		212	
雑収入		427,212	
長崎DMO育成支援補助金		5,569,000	5,996,424
	経常利益金額		3,684,980
	税引前当期純利益金額		3,684,980
	法人税、住民税及び事業税		964,600
	当期純利益金額		2,720,380

販売費及び一般管理費

株式会社島原観光ビューロー

自 平成28年 9月13日

至 平成29年 3月31日

単位：円

科 目	金 額
給 与 手 当	19,239,179
賃 金	7,749,963
賞 与	1,762,733
法 定 福 利 費	4,347,699
福 利 厚 生 費	352,244
外 注 費	880,000
旅 費 交 通 費	673,740
通 信 費	560,810
会 議 費	108,136
諸 行 事 協 力 費	158,360
リ ー ス 料	745,872
保 険 料	573,440
修 繕 費	677,010
水 道 光 熱 費	4,000,486
燃 料 費	233,592
消 耗 品 費	1,691,783
租 税 公 課	107,682
事 務 用 品 費	150,447
広 告 宣 伝 費	747,212
支 払 手 数 料	1,418,468
観 光 事 業 費	1,770,158
自 主 事 業 費	829,314
業 務 委 託 費	10,226,108
管 理 委 託 費	8,848,233
負 担 金	130,200
島原城七万石物語事業費	4,956,176
湧水城下町おもてなし事業	5,766,543
旅 行 業	320,278
雑 費	1,166,178
合 計	80,192,044

株主資本等変動計算書

株式会社島原観光ビューロー

自 平成28年 9月13日

至 平成29年 3月31日

単位：円

株主資本

資本金	当期首残高		0
	当期変動額	当期増加資本金	<u>60,000,000</u>
	当期末残高		<u>60,000,000</u>

利益剰余金

その他利益剰余金

繰越利益剰余金	当期首残高		0
	当期変動額	当期純利益	<u>2,720,380</u>
	当期末残高		<u>2,720,380</u>

利益剰余金合計

	当期首残高		0
	当期変動額		<u>2,720,380</u>
	当期末残高		<u>2,720,380</u>

株主資本合計

	当期首残高		0
	当期変動額		<u>62,720,380</u>
	当期末残高		<u>62,720,380</u>

純資産合計

	当期首残高		0
	当期変動額		<u>62,720,380</u>
	当期末残高		<u>62,720,380</u>

個別注記表

株式会社島原観光ビューロー

自 平成28年 9月13日

至 平成29年 3月31日

重要な会計方針に係る事項に関する注記

棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法を採用しております。

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式を採用しております。

株主資本等変動計算書に関する注記

発行済み株式の数

前期末株式数（発行済普通株式） 0株

当期増加株式数（発行済普通株式） 3,000株

当期減少株式数（発行済普通株式）

当期末株式数（発行済普通株式） 3,000株

前期末株式数（発行済優先株式）

当期増加株式数（発行済優先株式）

当期減少株式数（発行済優先株式）

当期末株式数（発行済優先株式）

監査報告書

平成28年9月13日から平成29年3月31日までの、第1期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

監査役は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査致しました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関係する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一、事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく表示しているものと認めます。
- 二、取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

平成 29年 6月 5日

株式会社 島原観光ビューロー

監査役 八幡 秀昭 